

2007 年度

科目名 環境と社会（総合講座）B	対象学科・学年 文学部日文2回生 文学部英米2回生 文学部文財2回生 人間人社2回生	担当者 次田 健作
授業テーマ 環境問題を「経済」の視点から考える。		
授業の概要と目標 経済学はこれまで自然をどのように見てきたのか。また、世界的規模での環境破壊は一方で、私たちの足元の問題としても見えてくるはずである。こうした問題意識のもとに、環境問題が私たちの日常的な経済生活、ライフサイクルとどのように関係しているのかを具体的なテーマと作業を通じて検討していく。		
評価方法 レポートの提出。		
テキスト 使用しない。	著者	出版社
参考書 授業の中で指示・紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1) 現代社会と地球環境 2) 経済学はこれまで自然をどのように見てきたのか？ 3) レイチェル・カーソン―「沈黙の春」からの警告― 4) 水俣病と環境問題 5) 水は誰のものか―経済のグローバル化の中での水問題― 6) 環境問題は個人のライフスタイルとどのように関係しているのか？ 7) エネルギー問題と環境 ― 原子力発電を考える ― 8) まとめ ―― 小グループに分かれて話し合い・討論 ――		